2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　株式会社イボキン　　上場取引所　東
コード番号　　5699　　ＵＲＬ　https://www.ibokin.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）高橋　克実
問合せ先責任者　（役職名）執行役員管理本部長　　（氏名）吉田　朋子　　ＴＥＬ　0791（72）5088

配当支払開始予定日　　ー
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	7,124	△2.4	564	24.1	554	17.8	368	△14.2
2025年12月期第３四半期	7,296	1.0	454	△24.6	471	△24.2	429	5.7

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　390百万円（△24.9%）　2025年12月期第３四半期　519百万円（0.7%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	112.09	ー
2025年12月期第３四半期	130.62	ー

（注）「潜在株式調整後１株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	8,461	5,432	63.8
2025年12月期	8,105	5,147	63.2

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　5,399百万円　2025年12月期　5,122百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	ー	ー	ー	32.00	32.00
2026年12月期	ー	ー	ー		
2026年12月期（予想）				32.00	32.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	4.9	800	24.4	778	17.0	524	△12.4	159.42

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. ７「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	3,427,200株	2025年12月期	3,427,200株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	140,292株	2025年12月期	140,292株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	3,286,908株	2025年12月期３Ｑ	3,287,424株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. ２「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算説明資料については、当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理） …… 7
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に弱含みの動きが見られるものの、緩やかに回復しています。雇用・所得環境は緩やかに改善し、設備投資も増加していますが、物価の高止まりが継続しています。一方、米国の外交政策や中東情勢の緊迫化に伴って資源の供給に対する懸念が一層高まってきており、原料調達に支障が生じ、一部の製造業で生産調整が行われるなどしており、依然不透明な経済状況にあります。鉄スクラップ価格については前年同期より高い水準で推移しています。また、銅スクラップ価格は上昇傾向が継続しています。

このような経済情勢の下、当社グループは、解体・環境・金属の各事業が総合的にニーズを探り出し、解体工事や設備撤去、スクラップの買取り、産業廃棄物収集運搬・中間処理を経て素材メーカー等に再生資源を提供する「ワンストップ・サービス」をさらに推進させております。

これらの結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は7,124,495千円（前年同期比2.4%減）、営業利益は564,340千円（同24.1%増）、経常利益は554,956千円（同17.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は368,446千円（同14.2%減）となりました。

各セグメント別の状況は下記のとおりです。

＜解体事業＞

解体工事については、新規の着工案件が減少し減収となりましたが、前年同期に特定案件において多額の工事原価を計上したことの反動などから増益となりました。工事監督者数については、当第３四半期連結会計期間末時点で40名となりました。さらに施工能力を高めるとともに受注活動を活発化しております。

これらの結果、売上高は1,551,638千円（前年同期比37.7%減）、営業利益は249,926千円（同92.4%増）となりました。受注残高については、工事の進行度に応じてすでに売上計上された部分を除き1,219,651千円となりました。

＜環境事業＞

産業廃棄物処理受託の取扱量は15,979トン、再生資源販売の取扱量は13,186トンといずれも堅調に推移しました。鉄スクラップ価格が前年同期より高い水準で推移したため増収となりましたが、有価物を多く含む廃棄品処理の大型案件が前年同期に発生したことの反動等があり、営業利益は前年同期とおおむね同水準となりました。

これらの結果、売上高は1,734,929千円（前年同期比17.7%増）、営業利益は170,159千円（同0.2%減）となりました。

＜金属事業＞

当第３四半期連結累計期間における当事業の金属スクラップ取扱量は41,181トン（うち当社工場でのスクラップの取扱量は36,791トン、残りは当社工場を介しない直送取引）となりました。鉄スクラップ価格が前年同期より高い水準で推移し、また銅スクラップ価格が上昇したため増収となりましたが、近隣の大型解体案件から発生したスクラップの入荷が減少し、仕入れ品の入荷が増加したため減益となりました。

これらの結果、売上高は3,837,926千円（前年同期比15.2%増）、営業利益は144,255千円（同6.5%減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産の部）

当第３四半期連結会計期間末における総資産は8,461,823千円となり、前連結会計年度末に比べて356,581千円増加しました。流動資産は、現金及び預金の増加等により、前連結会計年度末に比べて457,122千円増加の4,104,329千円となりました。固定資産は、土地の減少等により、前連結会計年度末に比べて100,541千円減少の4,357,494千円となりました。

（負債の部）

当第３四半期連結会計期間末における負債は3,029,193千円となり、前連結会計年度末に比べて71,529千円増加しました。流動負債は、契約負債の増加等により、前連結会計年度末に比べて301,749千円増加の1,660,409千円となりました。固定負債は、長期借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べて230,219千円減少の1,368,783千円となりました。

（純資産の部）

当第３四半期連結会計期間末における純資産は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べて285,051千円増加の5,432,629千円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の連結業績予想につきましては、2026年２月13日に公表しました業績予想から変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,672,900	2,798,682
受取手形、売掛金及び契約資産	1,721,953	922,046
商品及び製品	552	592
仕掛品	7,622	7,790
原材料及び貯蔵品	137,838	196,129
未成工事支出金	16,674	122,874
その他	89,828	56,521
貸倒引当金	△162	△309
流動資産合計	3,647,206	4,104,329
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	389,250	395,742
機械装置及び運搬具（純額）	750,493	788,992
最終処分場（純額）	67,669	53,024
土地	1,949,965	1,827,766
リース資産（純額）	460,510	408,872
建設仮勘定	19,176	35,376
その他	43,828	38,176
有形固定資産合計	3,680,893	3,547,951
無形固定資産		
その他	23,105	14,519
無形固定資産合計	23,105	14,519
投資その他の資産		
投資有価証券	564,522	596,537
保険積立金	117,024	121,090
繰延税金資産	22,823	22,990
その他	49,665	54,403
投資その他の資産合計	754,036	795,022
固定資産合計	4,458,035	4,357,494
資産合計	8,105,242	8,461,823

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	434,573	505,010
工事未払金	162,398	165,144
短期借入金	200,000	－
１年内返済予定の長期借入金	94,276	79,980
リース債務	80,203	82,505
未払金	68,423	79,972
未払法人税等	65,564	89,536
契約負債	25,098	328,169
賞与引当金	22,100	79,228
受注損失引当金	－	4,715
その他	206,019	246,146
流動負債合計	1,358,659	1,660,409
固定負債		
長期借入金	801,694	660,035
リース債務	336,291	274,710
役員退職慰労引当金	345,001	298,154
退職給付に係る負債	12,251	25,843
繰延税金負債	73,104	79,379
資産除去債務	30,660	30,660
固定負債合計	1,599,003	1,368,783
負債合計	2,957,663	3,029,193
純資産の部		
株主資本		
資本金	130,598	130,598
資本剰余金	954,794	954,794
利益剰余金	4,017,178	4,280,443
自己株式	△188,011	△188,011
株主資本合計	4,914,559	5,177,824
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	207,581	221,826
その他の包括利益累計額合計	207,581	221,826
非支配株主持分	25,437	32,978
純資産合計	5,147,578	5,432,629
負債純資産合計	8,105,242	8,461,823

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	7,296,559	7,124,495
売上原価	5,992,630	5,631,626
売上総利益	1,303,928	1,492,868
販売費及び一般管理費	849,314	928,527
営業利益	454,613	564,340
営業外収益		
受取利息	1,160	3,331
受取配当金	6,196	7,570
受取手数料	2,571	2,511
受取補償金	4,300	－
その他	6,659	6,046
営業外収益合計	20,887	19,461
営業外費用		
支払利息	4,334	28,345
その他	30	500
営業外費用合計	4,364	28,845
経常利益	471,136	554,956
特別利益		
固定資産売却益	11	8,019
受取保険金	77,650	－
負ののれん発生益	62,581	－
特別利益合計	140,244	8,019
特別損失		
固定資産除却損	135	0
弔慰金	11,880	－
特別損失合計	12,015	0
税金等調整前四半期純利益	599,365	562,976
法人税等	158,486	186,988
四半期純利益	440,878	375,987
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,458	7,541
親会社株主に帰属する四半期純利益	429,420	368,446

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	440,878	375,987
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	78,580	14,244
その他の包括利益合計	78,580	14,244
四半期包括利益	519,459	390,232
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	508,001	382,691
非支配株主に係る四半期包括利益	11,458	7,541

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	245,404千円	287,247千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額（注１）
	解体事業	環境事業	金属事業	計		
売上高						
一時点で移転される財・サービス	677,703	1,474,320	3,330,216	5,482,239	－	5,482,239
一定の期間にわたり移転される財・サービス	1,814,319	－	－	1,814,319	－	1,814,319
顧客との契約から生じる収益	2,492,022	1,474,320	3,330,216	7,296,559	－	7,296,559
その他の収益	－	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	2,492,022	1,474,320	3,330,216	7,296,559	－	7,296,559
セグメント間の内部売上高又は振替高	647,872	214,723	27,564	890,160	△890,160	－
計	3,139,895	1,689,043	3,357,780	8,186,719	△890,160	7,296,559
セグメント利益	129,875	170,479	154,259	454,613	－	454,613

（注）　１．セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．収益認識に関する会計基準の適用指針第95項に定める代替的な取扱いを適用することにより、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識している工事契約については、一時点で移転される財・サービスに含めています。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額（注１）
	解体事業	環境事業	金属事業	計		
売上高						
一時点で移転される財・サービス	486,444	1,734,929	3,837,926	6,059,301	－	6,059,301
一定の期間にわたり移転される財・サービス	1,065,193	－	－	1,065,193	－	1,065,193
顧客との契約から生じる収益	1,551,638	1,734,929	3,837,926	7,124,495	－	7,124,495
その他の収益	－	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	1,551,638	1,734,929	3,837,926	7,124,495	－	7,124,495
セグメント間の内部売上高又は振替高	193,166	286,216	18,143	497,526	△497,526	－
計	1,744,804	2,021,146	3,856,070	7,622,021	△497,526	7,124,495
セグメント利益	249,926	170,159	144,255	564,340	－	564,340

（注）　１．セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．収益認識に関する会計基準の適用指針第95項に定める代替的な取扱いを適用することにより、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識している工事契約については、一時点で移転される財・サービスに含めています。